

# ほけんだより6月号

2019年度



雨露の恵に感謝する季節。田になみなみと張られた水のように、今月も豊かな情報をお届けします。

## あけぼの トピックス

これといった感染症は出ていませんが、熱や咳の症状が増えています。

皆さん、こどもを乗せての自転車走行、ヒヤリとしたことはありませんか。雨天時は特に、視界不良、路面も濡れて滑り易く、事故のリスクが高まります。今月は、安全な自転車の乗り方についてお話します。

### 自転車事故ゼロ！



#### ● 6年間で1,349人 事故

東京消防庁管内の救急搬送データによると、2011～2016年までの6年間で、幼児用座席付自転車にこどもを乗せて使用中にこどもがケガをして、1,349人が救急搬送されています。そのうち「落ちる」「転ぶ」という事故は1,224人です。また、転倒して頭蓋内損傷や骨折等のケガをする事故情報は609件あり、走行中だけでなく、停車中の事故も多くみられます。

特に、4月～7月は救急搬送が増加傾向にあります。4月に新しく幼児用座席付自転車でこどもを送り迎えする親が増えることが要因でしょう。

それでは、実際にあった事故をみてみましょう。



#### ● ヘルメットを使用していなかった

3人乗り電動アシスト付自転車の前方幼児用座席にこどもを乗せて走行。道路と歩道の段差を乗り越えようとした時、自転車が右に傾き転倒。こどもはコンクリート地面に顔から落ちて強打。シートベルトはつけていたが、ヘルメットはつけていなかった。診断結果＝右側頭蓋骨骨折 及び 頭蓋内損傷。

#### ● 重い荷物とこども2人

買い物の帰り、こども2人を乗せて走行。荷物が多過ぎて、自転車はバランスを崩し左側へ転倒。ヘルメットとシートベルトを着用して後部座席に乗っていた子が左腕を打撲。診断結果＝左腕骨折。

#### ● こどもを乗せる時に

朝、兄を送る為に慌てていて、下の子にヘルメットをつけるのを忘れたまま、前部座席に座らせシートベルトをつけた。その後、兄を後部座席に座らせる為に移動した際、自転車がぐらつき左側へ転倒。前部座席の子はコンクリート地面に左頭頂部を強打。診断結果＝頭蓋内損傷。

#### ● 停車中に転倒 その1

前部座席に座らせていた子のヘルメットとシートベルトを先に外し、荷物をおろそうと目を離した時、自転車が転倒。診断結果＝下顎骨折。



#### ● 停車中に転落 その2

家の駐車場で、自転車の後部座席にこどもを乗せていたが、保護者が離れたすきに右側へ自転車ごと転倒。ヘルメットはしていなかったが、頭部打撲はなかった。しかし、右肘を強打。診断結果＝右腕骨折。

ちょっとした心の隙が招く事故。便利な自転車の安全な使用方法について、いまいちど復習してみましょう。

